

大 学 (問合せ先等)	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件					1 推 薦 人 数 制 限	選 考 方 法		2017年度入試日程			備 考		2016年度入試結果		
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特定条件・その他 ※奇数頁上【注】の前提条件に該 当する内容は省略	C T 教科 科目		書 類 ・ 小 論 文 ・ 面 接 ・ その他	出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表	合否判定評価法（配点等）、 CT教科科目、新増設、 その他	志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率		
静 岡 大 学 ★入試課 1n(054)238-4464 〒422-8529 静岡県 静岡市駿河区大谷 836 要項：〒215円 テレメールで請求 出願：郵送 【C T】理で基礎を付 した科目を選択し た場合、2科目を他 の教科・科目の1科 目分とみなす	教育	<CTを課さない推薦> <地域指定枠> 学校教育－全専攻	300	2	全	現役	4.3	次の全条件。(1)静岡県の指 定地域の高校出身で同地域 に住所を有する者、(2)静岡 県で学校教員として指導力 を発揮し地域貢献の強い意 欲を持つ者	2	×	書類審査・小論文・面 接（提出書類等の記載 内容の確認含む）	11.7 ～ 11.11	11.26	12.2	(注)地域指定枠の指定地 域は過疎地域自立促進特 別措置法による (注)技術教育専修は課題 研究（製作物や技術に関 する実績など）を提出す ること	4	2	2.0		
			<教員養成特別枠> 学校教育－全専攻 学校教育－技術	300 11				10 2	農業 工業 総合		学校教員になろうとする強 い意欲を持つ者 農業または工業に関する専 門科目25単位以上の修得者 (注)総合学科は農業・工業 合わせて25単位以上の修得 者					2 1	書類審査・小論文・面 接 書類審査・面接	42 2	10 2	4.2 1.0
		地域創造	地域経営 地域共生 地域環境・防災 アート&マネジメント スポーツプロモーション	50	A10 B 5 C 5	全	現役	4.3 ×			地域社会の様々な課題に興 味・関心のある者 (注)推薦定員→A＝文理融 合系，B＝アート系，C＝ スポーツ系で募集					各2 (注)	書類審査・小論文・面 接 (注)アート系は創作物 品1点とデッサン1点を 持参すること	(注)推薦人数→選考方法 A～Cごとに2名以内 (注)選考方法Cは、各校 1名に限り全体4.0以上4.3 未満でも出願可	A24 B 8 C11	10 5 5
					4.3 (注)			志望学科分野に強い意欲を もち、その分野の優れた能 力・素質・適性をもつ将来 性のある者	－		3-3								書類審査・面接（指定 図書に関する作文含む） ・CT 書類審査・CT	1.23 ～ 1.27
	人文社会 科学(昼)	社会 言語文化 法 経済	70 75 90	10 10 14	全	現役	3.5	1浪	4-5	書類審査・CT	1.23 ～ 1.27	－	2.7	【C T】国・外必須，地歴・ 公・数・理から1科目	16 12 63	10 12 17	1.6 1.0 3.7			
			155	25											【C T】国・数・外必須，地 歴・公・理から1科目	53	25	2.1		
	人文社会 科学(夜)	法 経済	30 30	20 15	全	1浪	3.0	入学後も就労（アルバイト を含む）しながら勉学する ことを確約できる者	－	3-3	書類審査・CT	1.23 ～ 1.27	－	2.7	【C T】国・外必須，地歴・ 公・数・理から1科目	16 6	7 5	2.3 1.2		
			理	数学 物理 生物科学 化学 創造理学												38 48 52 52 20	5 7 5 8 10	全	現役	×
	1浪	国際的な活躍を目指す者			3-5	書類審査・面接（口頭 試問含む）・CT 【C T】数・理・外														

大 学 (問合せ先等)	学部 (学群・学域)	学科－専攻 (学類)	募集人員		推 薦 条 件				1 推 薦 人 数 制 限	選 考 方 法		2017年度入試日程			備 考		2016年度入試結果		
			入 学 定 員	推 薦 定 員	対 象 課 程	現 浪 区 分	成 績 基 準	特定条件・その他 ※奇数頁上【注】の前提条件に該 当する内容は省略		C T 教科 科目	書 類 ・ 小 論 文 ・ 面 接 ・ その他	出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表	合否判定評価法（配点等）、 CT教科科目、新増設、 その他	志 願 者 数	合 格 者 数	競 争 率	
静 岡 大 学 (続) 【C T】理で基礎を付 した科目を選択し た場合、2科目を他 の教科・科目の1科 目分とみなす	教育	<CTを課す推薦>						各1 (注)		書類審査・面接・CT。 国語教育専修実技選択 者はほかに実技（書写） を課す (注)初等学習開発学専 攻は面接に先立ち、課 題文等を読み、発表原 稿を作成	1.23 ～ 1.27	2.4	2.7	(注)推薦人数→国語教育 専修は各枠（実技なし／ 実技あり）ごとに1名 【C T】美術教育専修・音楽 教育専修・英語教育専修 ＝国・外必須、地歴・公 ・数・理から1科目 (注)美術教育専修は面接 時に創作作品1点を持参	7	2	3.5		
		学校教育－教育実践学	10	2						5-7						9	3	3.0	
		－教育心理学	10	3						6-7						14	5	2.8	
		－特別支援教育	22	5			4.3									7	6	1.2	
		－初等学習開発学	15	6												8	2	4.0	
		－養護教育	10	2												8	5	1.6	
		－国語	30	3/2												11	6	1.8	
		－社会	30	6												8	4	2.0	
		－理科	27	4												9	4	2.3	
		－美術	15	4			3.5			3-3					書類審査・実技・面接 ・CT	6	5	1.2	
		－音楽	15	5											書類審査・面接・CT	11	4	2.8	
		－家庭	13	4			4.3		数ⅠⅡⅢABの履修者	5-7						16	3	5.3	
		－数学	30	3					学校教育に熱意のある者	6-7						28	6	4.7	
		－保健体育	20	6			3.5												
		－英語	20	6			3.8		英検2級、TOEFL-iBT52 点、TOEIC500点以上いず れかの有資格者	3-3					書類審査・面接（日本 語と英語）・CT	13	6	2.2	
	情報	情報科学	100	7				特になし	各2	4-6				書類審査・面接・CT	【C T】国・数・外必須、地 歴・公・理から1～2科目	15	7	2.1	
		情報社会	75	7			×			5-6				(注)情報社会学科は面 接前に情報学に関する ミニ講義（約20分）を 実施		11	7	1.6	
		行動情報	70	5						4-5									
										3-4				書類審査・グループワ ーク（個人レポートを 課す）・CT		11	5	2.2	
	工	機械工	168	15				特になし	各2	5-7	書類審査・面接・CT (注)電気電子工学科・ 化学バイオ工学科→面 接＝口頭試問を含み、 参考資料とするために 基礎的な問題を筆記 (化学バイオ工学科は 小論文含む)により答 える	1.23 ～ 1.27	－	2.7	【C T】機械工学科→理＝物 必須、化・生・地学から1科 目、その他→理＝物・化 ・生・地学から2科目 【C T】数・理（化指定）・ 英	33	16	2.1	
		電気電子工	110	15												19	12	1.6	
		電子物質科学	110	10												5	3	1.7	
		数理システム工	50	4												9	6	1.5	
		化学バイオ工	112	12			×			3-4						14	11	1.3	
	農	生物資源科学 応用生命科学	115 70	25 15				特になし	－	5-7	書類審査・CT				【C T】理＝物・化・生・地 学から2科目	45 39	25 15	1.8 2.6	